

令和5年度末 案内装置、車両間転落防止設備のある編成数について

令和6年3月31日現在

事業者名	鉄道の種類	編成数				
		事業の用に供している編成数	案内装置のある編成数 ^{※1}		車両間転落防止装置のある編成数	
				事業の用に供している編成数に対する割合(%)		事業の用に供している編成数に対する割合(%)
JR東日本 [※]	新幹線鉄道	141 編成	141 編成	100.0 %	141 編成	100.0 %
	普通鉄道（特急等車両）	140 編成	123 編成	87.9 %	140 編成	100.0 %
	普通鉄道（その他）	1,725 編成	1,297 編成	75.2 %	1,625 編成	94.2 %
JR旅客会社 小計		2,006 編成	1,561 編成	77.8 %	1,906 編成	95.0 %
東武鉄道	普通鉄道（特急等車両）	36 編成	36 編成	100.0 %	36 編成	100.0 %
	普通鉄道（その他）	279 編成	220 編成	78.9 %	279 編成	100.0 %
西武鉄道	普通鉄道（特急等車両）	13 編成	12 編成	92.3 %	13 編成	100.0 %
	普通鉄道（その他）	142 編成	107 編成	75.4 %	142 編成	100.0 %
	案内軌条式鉄道	3 編成	0 編成	0.0 %	0 編成	0.0 %
京成電鉄	普通鉄道（特急等車両）	9 編成	0 編成	0.0 %	9 編成	100.0 %
	普通鉄道（その他）	78 編成	7 編成	9.0 %	78 編成	100.0 %
京王電鉄	普通鉄道（その他）	115 編成	115 編成	100.0 %	115 編成	100.0 %
小田急電鉄	普通鉄道（特急等車両）	24 編成	24 編成	100.0 %	24 編成	100.0 %
	普通鉄道（その他）	117 編成	117 編成	100.0 %	117 編成	100.0 %
東急電鉄	普通鉄道（その他）	171 編成	170 編成	99.4 %	171 編成	100.0 %
	軌道（路面）	10 編成	10 編成	100.0 %	10 編成	100.0 %
京浜急行電鉄	普通鉄道（その他）	127 編成	127 編成	100.0 %	127 編成	100.0 %
相模鉄道	普通鉄道（その他）	47 編成	47 編成	100.0 %	47 編成	100.0 %
大手民鉄8社 小計		1,171 編成	992 編成	84.7 %	1,168 編成	99.7 %
東京地下鉄	普通鉄道（その他）	339 編成	336 編成	99.1 %	339 編成	100.0 %
東京都交通局	普通鉄道（その他）	151 編成	151 編成	100.0 %	151 編成	100.0 %
	軌道（路面）	33 編成	33 編成	100.0 %	33 編成	100.0 %
	軌道（案内軌条式）	20 編成	20 編成	100.0 %	20 編成	100.0 %
横浜市交通局	普通鉄道（その他）	54 編成	54 編成	100.0 %	54 編成	100.0 %
地下鉄3社局 小計		597 編成	594 編成	99.5 %	597 編成	100.0 %

JR、大手民鉄、地下鉄 小計	3,774 編成	3,147 編成	83.4 %	3,671 編成	97.3 %
中小民鉄等 小計	466 編成	379 編成	81.3 %	216 編成	46.4 %
鉄軌道全体 合計	4,240 編成	3,526 編成	83.2 %	3,887 編成	91.7 %
(参考) 令和4年度末の数値 鉄軌道全体 合計	3,832 編成	3,204 編成	83.6 %	3,659 編成	95.5 %

※1. 「案内装置のある編成数」とは、次に停車する駅や当該車両の運行に関する情報を文字及び音声により提供するための設備を設けている編成数をいう。

※2. 当該事業者全編成数、車両数を計上している。